

# 岐阜大学創立60周年によせて

岐阜大学長 森 秀樹



平成21年6月1日に岐阜大学は開学60周年を迎えます。岐阜大学の歴史は、各学部のルーツとも言うべき組織から辿りますと、もっと長いものになりますが、60年の歴史は、昭和24年の学芸学部と農学部の2学部で発足したことから始まっています。その後、昭和27年に工学部、昭和39年に医学部を設置（いずれも県立大学から国立移管）し、平成8年の地域科学部の創設に伴って5学部の総合大学となりました。

今、あらためて振り返りますと歴代の学長を始め教職員が乗り越えてきた問題がどれだけ重要で、困難であったかを知ることができました。特に、分散したキャンパスにあった各学部を移転し、昭和59年に現在のキャンパスに統合したこと。そし

て、平成16年に医学部および同附属病院の移転が完了し、岐阜大学は文字通り一つのキャンパスとなったことは、「他学部の教官学生との接触交流が自由にでき、学生にとってはその自己形成に役立つような教育の場として、ひろくて整った全学統合の学園を用意することが、必須の条件である。」と、昭和43年に今西学長が表明したことを思うとき、現在の美しいキャンパスを誇りにさえ思えるのです。

平成16年には国立大学が法人化され、岐阜大学は国立大学法人岐阜大学となりました。法人化後、岐阜大学も大きく変革しました。異分野の研究者が連携して行う5つのプロジェクト型研究センター（人獣感染防御研究センター、先端創

薬研究センター、金型創成技術研究センター、未来型太陽光発電システム研究センター、社会資本アセットマネジメント技術研究センター）を創設しました。

さらに、岐阜薬科大学と連携して連合大学院（創薬医療情報研究科）を発足させました。国立大学と公立大学による連合大学院は、わが国初めてのものです。関連して、岐阜大学のキャンパス内に薬科大学の教育・研究棟ができ（本年10月完成）、建物の一部に岐阜大学の先端創薬研究センターと連合大学院が入ります。このような事業は法人化を契機に自主的な大学運営が可能となったことから、ハイスピードで改革できたわけです。

現在、法人化第二期中期計画を



図書館



医学部

策定するにあたり、本学のめざすべき方向性を定めました。

これにより、教育、研究、国際化、経営方針などの社会の期待に応えるべき施策を展開してまいりたいと思います。

今回、創立60周年を機に岐阜大学独自の教育研究活動支援や教職員、学生による地域貢献活動等の継続的な展開を図るために、岐阜大学基金を創設致します。この基金は「学び」「究め」「貢献する」を理念とする本学の活動と「キャンパス整備事業の支援」などの基本戦略を進めるために大切な意味を持つものと考えます。特に基金は、奨学金などとして学生支援活動に重要な役割を果たすと考えております。

また、岐阜大学同窓会連合会を発足致します。この連合会を作って頂いたのは、大学と同窓生を含む多

くの方々との情報交換を活発にし、60年の歴史をマイルストーンとして、更なる大学発展のため、岐阜大学関係者の共通意思の向上を図りたいからであります。

大学に対する社会からの期待はますます高まると思います。今後、①本学が社会に送り出す学生は、国内はもとより海外においても活躍できる資質を備えているか

②研究活動は、世界的なレベルから地域産業界に至るまで注目を集めているか

③岐阜県もしくはグローバルな視点での地域の文化、環境保全に大学が直接貢献できているか

などに全教職員が心一つにして向い個性輝く中規模総合大学として、大学の使命と目標を高く掲げて進んで参りたいと存じます。

## 岐阜大学創立60周年記念事業の概要

### ○ 岐阜大学創立60周年記念式典

日時：平成21年6月1日(月)  
場所：岐阜大学講堂  
概要：式典

第2回Convivial Meeting  
「中国の現状と高等教育のグローバル化」  
講師：于平氏

記念講演会  
「脳の機能としくみ：機能分子からシステムへ」  
講師：中西重忠氏  
祝賀会

### ○ 岐阜大学地域交流協力会事業

日時：平成21年5月20日(水)  
場所：じゅうろくプラザ  
概要：記念講演会、フォーラム・交流会

### ○ 第16回岐阜シンポジウム

日時：平成21年7月8日(水)  
場所：じゅうろくプラザ  
テーマ：「微生物ー21世紀の社会と地球を支える立役者ー」(仮題)

## めざすべき大学の方向性

- ①教育に軸足を置いた教育・研究大学として社会の発展に貢献する。
- ②豊かな教養と確かな専門的知識・技能、広い視野と総合的な判断力を備えた高度な専門職業人を幅広い分野で養成する。
- ③自由な発想に基づく個性的、先進的な研究を行い、特に生命科学及び環境科学の拠点形成を推進し、その成果を社会に還元する。
- ④地域に根ざした大学として、地域の諸課題に積極的に取り組み、地域社会の発展の核となる。
- ⑤留学生の受け入れを促進するとともに、学生の国際的通用性を高め、グローバル化時代に活躍できる人材を養成する。



統合前の長良キャンパス



統合前の那加キャンパス



統合前の司町キャンパス



統合後